

授業科目名： 教育方法・技術論 (中等)	教員の免許状取得のため の 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 仲 久徳・坂 敬介 担当形態：オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 ・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 ・共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。 			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育方法の歴史、学びや授業、学習評価などの基礎的事項について説明できる。 ・教材研究の方法や授業の構成について理解し、具体的なテーマに沿った指導案を作成できる。 ・情報機器等の活用について、教材研究・授業における具体的な活用方法を提案できる。 			
<p>授業の概要</p> <p>本授業では、教育方法、教材研究、授業の構想と展開、運営に関する基本的考え方について理解し、情報機器や教材の活用などを具体的な場面で構想できることをねらいとする。また、教師に求められる「学びを読み取る力」、「授業を見る力」について理解を深めていく。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：「教育方法・技術論」学習の目的：これからの社会を担う子供たちに求められている資質・能力とその育成の在り方（担当：仲 久徳）</p> <p>第2回：教育方法の基本原理及び歴史（担当：仲 久徳）</p> <p>第3回：学びとは何か：「学び」に関する基礎的理論、多様な「学び」の在り方（担当：坂 敬介）</p> <p>第4回：授業とは何か：授業を構成する基礎的要件、教師・子ども・教材の関係性（担当：坂 敬介）</p> <p>第5回：学習評価とは何か：評価の意義、様々な学習評価の方法（担当：坂 敬介）</p> <p>第6回：授業づくりの方法（1）：学習目標・評価規準設定の意義と方法／学習目標・評価規準設定演習（担当：坂 敬介）</p> <p>第7回：授業づくりの方法（2）：教材研究の意義と方法／教材研究演習（担当：坂 敬介）</p> <p>第8回：授業づくりの方法（3）：学習の形態、授業の構成と展開／授業構成演習（担当：坂 敬介）</p> <p>第9回：授業運営の技術（1）：授業コミュニケーション（話法及び発問・板書を中心に）（担当：仲 久徳）</p>			

- 第10回：授業運営の技術（2）：授業マネジメント（一斉指導及び机間指導を中心に）
（担当：仲 久徳）
- 第11回：情報機器の活用：各種教育メディア、電子黒板・タブレット端末等を活用した学習
（担当：坂 敬介）
- 第12回：授業実践の基礎演習（1）：学習指導案の作成、電子教材・印刷教材の作成
（担当：仲 久徳）
- 第13回：授業実践の基礎演習（2）：模擬授業、授業評価（担当：仲 久徳）
- 第14回：教育情報の活用と情報教育：著作権、個人情報及び情報セキュリティに関する基礎的事項、情報活用能力・情報モラル育成の方法（担当：仲 久徳）
- 第15回：教師の力量形成：授業研究の意義と方法、学び続ける・学び合う教師（担当：仲 久徳）

定期試験

*スクーリングでは、第9回、第10回、第12回、第13回を実施する。

テキスト

- (1) 佐藤学（2010）『教育の方法』左右社

参考書・参考資料等

- (1) 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）』
- (2) 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』
- (3) 文部科学省『高等学校学習指導要領』
- (4) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説総則編』
- (5) 文部科学省『教育の情報化に関する手引』
- (6) 田中耕治 他（2012）『新しい時代の教育方法』有斐閣
- (7) 西岡加名恵 他編（2015）『新しい教育評価入門』有斐閣
- (8) 秋田喜代美『学びの心理学 授業をデザインする』左右社 2012年

学生に対する評価：

レポート（25%）、スクーリング（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。